



こども園 ほしのこ

更新年月日: 令和8年4月1日

郵便番号	897-0222		
住所	南九州市川辺町永田1861		
電話	0993-56-1316	FAX	0993-78-3687
ホームページ アドレス	https://kosodate-web.com	Eメールアドレス	sueno.chuou@axel.ocn.ne.jp

開設年月	平成26年4月1日	利用定員	65名 1号認定(3・4・5歳) 15名 2号認定(3・4・5歳) 30名 3号認定(0・1・2歳) 20名
施設区分	幼保連携型認定こども園	利用時間	午前7時～午後6時(午後6時～7時延長)
敷地面積	4,832.38㎡	休園日	日曜・祝日、12月29日～1月3日 3月31日～4月1日
建物面積	約480㎡	受入年齢	生後6か月～小学校就学前の子ども
建物構造	木造	職員状況	園長 1名
設置・経営 主体名称	社会福祉法人 知覧中央福祉会		主幹保育教諭 2名
経営主体 代表者	理事長 上之悦子		保育教諭等 8名
施設長 職・氏名	園長 上之悟史		保育補助 3名
			看護師(準看護師含む) 4名
			栄養士 3名
			調理員 3名
			総数 24名

利用可能サービス

サービス名	有無	内容				
延長保育事業	○	時間	18:00～19:00		備考 おやつ代を含む	
		利用料	月額	円		
			日額	50円		
一時預かり事業	○	時間	1日	9:00～17:00の間で4時間を超えた利用		
			半日	9:00～17:00の間で4時間を超えない利用		
		利用料	3歳未満	1日	2,000円	備考 ◎1号認定一時預かり 月～土の7:00～8:59(1回100円) 月～土の15:00～17:59(1回100円) 土曜の9:00～14:59(1回250円) ※満3歳児、新2号は無償対象
				半日	1,000円	
3歳以上	1日	1,000円				
	半日	500円				
休日保育事業	×	時間			備考	
		利用料	日額	円		
障害児保育事業	×					
放課後児童クラブ	×	児童クラブ名			定員	名
		時間	平日			
			土曜・夏休み等			
		利用料	月額	円	備考	
			日額	円		
夏休みのみ	円					
園の開放日	×					
地域子育て支援活動	○	◎卒園児と在園児との交流活動を行う。(月1回土曜日を予定 雨天時中止) ・野外クッキング(何を作って、誰が買い物に行って、誰が火を起こして等、朝子どもたちが話し合って決めていく。) ・その他製作活動等 地域の子ども達との触れ合い活動を通し、社会性を身に付けていく。				
その他サービス	×					

利用者負担(保育料)以外にかかる主な費用

項目	必須・選択	金額(円)	徴収時期	対象クラス
体操服、園児服	■必須	7000~10000円程度	入園時	園児服は3歳児以上、体操服は2歳児以上
体操帽子	■必須	900~1560円程度	入園時	01歳児帽子(1,650円)他900円程度
行事参加費	□選択	実費	都度集金	利用者・参加者のみ
絵本代	■必須	500円	毎月	全園児
給食費	■必須	4,000円	毎月	1号認定児
		4,500円		2号認定児

※現時点での予定のため変更となる可能性があります。あくまで主な費用であり、上記項目以外にも費用が発生する場合があります。

1日の流れ

認定区分	1号認定(満3歳~5歳児)	2・3号認定(0~5歳児)	
	教育標準時間(6時間以内)	保育短時間(8時間以内)	保育標準時間(11時間以内)
利用時間	9:00 ~ 15:00	9:00 ~ 17:00	7:00 ~ 18:00
7:00	一時預かり保育 ※有料	延長保育 ※有料	順次登園(保護者送り)
8:00			
9:00	◎0~2歳児 9:00~15:30 保育活動・昼食・お昼寝 (一人ひとりの生活リズムに合わせて、遊び・午前食・午睡・午後食を行う)		
10:00	◎3~5歳児 9:00~11:30 保育・教育活動 11:45~12:45 昼食 歯磨き 13:00~14:40 午睡 (5歳児は午睡はせず自由遊び) 軽食・帰りの会・戸外・室内遊び		
11:00			
12:00	一時預かり保育 ※有料		
13:00			
14:00	降園(保護者迎え) 延長保育 ※有料		
15:00			
16:00	延長保育 ※有料		
17:00			
18:00	延長保育 ※有料		
19:00			

主な年間行事(★は保護者参加型行事, __は土日実施)

月	行事内容 毎月(身体測定・避難訓練・サッカー指導(4.5歳児)・茶道教室(5歳児))
4月	入園式、保護者説明会
5月	親子遠足(全クラス)、和太鼓指導(年長)
6月	運動会(2歳以上)
7月	プール開き、稲荷神社(和太鼓出演)
8月	サマーキャンプ(年中・年長児)、和太鼓指導(年長)
9月	
10月	秋祭り
11月	摩崖仏祭り(和太鼓出演)、発表会(2歳以上)、保育参観(0・1・2歳児)
12月	クリスマス会
1月	
2月	ウィンターキャンプ(年中・年長)
3月	お別れ遠足、卒園式

※現時点での予定のため変更となる可能性があります。

園の方針・特徴・取り組んでいること等

<p>【保育理念】 心やさしくたくましく感受性豊かに生きる力を育てる</p> <p>乳幼児教育は、人生の基礎を養う大切な時期です。目まぐるしく変化する時代を、自らの責任で幸福を追求し続けながら生きていける大人になってほしいと願っています。</p> <p>【保育実践：子どもの未来を拓く3つのアプローチ】 1. 0~2歳：愛着という「心の基地」を築く(担当制保育) この時期、子どもにとって最も重要なのは「特定の大人との揺るぎない信頼関係」です。当園では担当制保育を導入し、担当の保育者が常に子どものそばに寄り添う環境を整えています。 日々の食事、排泄、着替えといった生活リズムを同じ保育者が一貫して担うことで、子どもは「自分を深く理解してくれる大人がいる」という確かな安心感を得ます。この情緒的な安定こそが、のちに訪れる「自律」へつながります。安心して甘えられる「心の基地」があるからこそ、子どもは未知の世界へ好奇心を持って踏み出すことができるのです。 2. 3~5歳：小さな社会の中で育む「人間力」(異年齢保育) 核家族が進む現代において、子どもが社会性を学ぶ機会を意識的に創らなければなりません。当園の3~5歳児クラスは異年齢で構成されています。年下の子は年上の子の振る舞いを見て社会のルールを学び、年上の子は小さな子を思いやる責任感を体験します。大人が介入して教えることのできない「人間関係の機微」や「摩擦と解決のプロセス」を、子どもたちは集団生活の中で肌感覚として習得していきます。この多層的な関係性の中で、協調性や非認知能力といった、数値化できない一生もののスキルが育まれていきます。 3. 主体性を引き出す「環境」の思想(コーナー保育・ハイキング給食) 「自ら選び、考え、やり遂げる」。このプロセスこそが、自立への第一歩です。 当園が取り入れるコーナー保育やハイキング給食は、単なる遊びや食事のスタイルではありません。子ども自身が「今日何をしたいか」「どの程度の量を食べたいか」という小さな選択を繰り返すことで、自己肯定感と責任感が養われます。 大人が一方向的に教え込むのではなく、子どもが能動的に関わりたくなるような「環境」をデザインすること。私たちは、子どもたちの「やりたい!」という火種を消さず、より深く熱中できるような、知的な遊び(学び)の場を提供し続けます。</p>
--

園からのメッセージ

<p>・園見学を希望される方は、園の方へ直接ご連絡ください。お待ちしております。</p>
--